

第5学年 国語科（書写）学習指導案

第5学年 11名
指導者 吉田 有里

1 単元 穂先の動きと、線のつながり

2 単元について

本学級の児童は書写学習に一生懸命に取り組んでいる。1学期に行った書写に関するアンケートでは、11名全員が「書くことが上手になりたい」と答えた。校内書写展に展示する作品やほたるギャラリーに掲示する作品作りに取り組む姿からは、前向きな気持ちを感じられた。保護者や地域の人、友達に自分の作品を見てもらえるという目的意識や相手意識が、児童のやる気を支えている。また、自分の作品に添えられる他学年の児童からの感想（フィードバック）も喜びにつながっている。しかし、「書写の学習が好きか」という質問に対して「好き」「どちらかといえば好き」と答えた児童は4名だった。「きれいに書けない」「書くことが苦手」という自信のなさがうかがえた。児童が達成感を感じ、自信をもって学習に取り組むためには自分の伸びに気付くことが大切である。児童一人一人が自他の成長を感じ、喜びを感じられる書写学習を進めたいと考えた。12月には、人権・同和問題学習発表会で書写学習を生かした発表や作品の掲示を予定している。児童が自信をもって活動に取り組むことができるようにしたい。

これまでに児童は、平仮名の筆使いとして3年生では「曲がり」、4年生では「結び」を学習している。5年生では漢字の教材で、文字の組み立て方、穂先の動き、筆順と字形、文字の大きさについて学習してきた。生活の中の様々な書く活動の中で、文字の組み立て方を意識したり、正しい筆順で書いたりすることで字形を整えようとする姿が見られた。

本単元は、四文字教材の『あこがれ』を学習する。平仮名相互の文字の大きさと、一文字のなかでの点画のつながりを意識した書き方を学ぶ。漢字から平仮名ができる過程を知ること、文字への関心を高めるとともに、線と線のつながりに気付くことができるようにしたい。次の線へつなげるような気持ちで穂先を動かしていくためには、一文字を書き上げるまで、なるべく墨をつけ直さないで書く習慣や意識を身に付けさせたい。また、同じ平仮名どうしても外形の違いによって大きさが異なるので、文字の中心と行の中心をそろえながら、文字相互のゆずり合いなども意識し、配列を整えて書くことができるようにしたい。

本時では、前時のまとめ書きや書いている様子を撮影した動画をもとに、一人一人が自分のめあてを考える。具体的なめあてをもつよう、めあてと振り返りのポイントを提示するとともに、友達とのアドバイスタイムを取り入れる。児童が自分の課題をつかみ、自分で練習方法を選択する場を設けることで、主体的な学習となる(自分との関わり)。また、まとめ書きでも動画を撮影し、本時のめあてをもとに振り返りができるようにする。学び合いの中で、自他の成長を実感し、書くことの楽しさを味わうことができるよう、相互評価や自己評価の場を取り入れていく(なかまや他者との関わり)。自分の成長に気付くことで文字を書くことに対する自信や喜びにつなげたい。そして書くことを楽しみ、学習や日常生活に進んで生かそうとする意欲や態度を育てていきたい。

3 単元の目標

- (1) 穂先の動きと線と線のつながりについて理解し、用紙全体に対する文字の大きさに気を付けて配列を整えて書くことができる。
- (2) 自分のめあてをもち、自分や友達の文字のよさを見つけて伝え合おうとする。

4 単元の評価規準

| | | |
|---|---------------|--|
| ア | 知識・技能 | 穂先の動きと線と線のつながりについて理解し、文字の大きさに気を付けて配列を整えて書いている。 |
| イ | 主体的に学習に取り組む態度 | ①自分のめあてをもち、意欲的に取り組もうとしている。 ②自分や友達の文字のよさを見つけて伝え合おうとしている。 |

5 単元の指導計画（4時間）

第一次 穂先の動きと線と線のつながりを理解して、気を付けて書こう。・・・2時間（本時2/2）

第二次 用紙全体に対する文字の大きさに気を付けて、配列を整えて書こう。・・・1時間

第三次 線と線のつながりや配列に気を付けて、硬筆で書こう。・・・1時間

6 本時の学習

(1) 目標

○穂先の動きと、線と線のつながりに気を付けて書くことができる。

○自分のめあてをもち、自分や友達の文字のよさを見つけて伝え合おうとする。

(2) 展開

| 過程 | 児童の活動 | 教師の指導・支援 | 評価規準 (評価方法) |
|------|--|--|---|
| つかむ | 1 本時のめあてをつかむ。 | 1 前時の試し書きの動画を見て、本時の学習のめあてをつかませる。 | |
| | <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; text-align: center;"> があ れこ </div> <div style="margin-left: 10px;"> 穂先の動きと、線と線のつながりに気を付けて書こう。 ・穂先の動き ・線と線のつながり </div> </div> | | |
| 高める | 2 自分のめあてに向かって練習する。 ・自分のめあてに合った練習方法を選び、練習する。 | 2 自分のめあてが達成できる練習方法を選べるように支援する。 ・練習用紙 ・水書用紙 ・動画 ・穂先チェック ・穂先ちゃん | ア穂先の動きと線と線のつながりに気を付けて書いている。 (観察) |
| 確かめる | 3 本時のまとめをする。 ・まとめ書きをする。 ・相互評価や自己評価をする。 | 3 めあてを意識して、まとめ書きや相互評価、自己評価ができるようにする。 ・撮影した動画を見て、自分の筆使いを確認できるようにする。 | イ②自分や友達の文字のよさを見つけて伝え合おうとしている。 (発言・観察 ・ワークシート) |
| 生かす | 4 学習したことを生かす。 | 4 本時の振り返りをし、次時の学習への意欲を高める。 | |

(3) 評価及び指導

①「十分満足できる」と判断される状況

| | |
|----|--|
| ア | 穂先の動きと、線と線のつながりについて理解し、気を付けて書いている。 |
| イ② | 自分のめあてをもち、自分や友達の文字のよさを見つけて進んで伝え合おうとしている。 |

②「おおむね満足できる」状況を実現させるための具体的な指導（手立て）

| | |
|----|------------------------------------|
| ア | 動画や水書用紙、穂先チェックなどで視覚的に理解できるようにする。 |
| イ② | めあてを確認し、自分や友達の文字のよさを見つげられるように助言する。 |

